

## あらすじ

ペルー銀山開発の失敗により、鉱夫を日本に帰すため屋須弘平は奔走した。

サンホセの港で鉱夫達と別れ、屋須は再びグアテマラに戻り写真館を経営する。

グアテマラでは「忘れ得ぬ友、日本人屋須」を友人たちは温かく迎えてくれた。

やがてマリアと結婚し、屋須はようやく安住の棲家となる場所を見つけさせてくれたが、日本にいる母や姉達のことを忘れることはなかった。

月日は流れ、屋須は故郷藤沢に似た古都アンティグアに移り住み、写真館を成功させていた。



ある日一人の日本人が写真館を訪ねてきた。サンホセの港で別れた鉱夫である。彼は藤沢の様子、母のこと、娘のことを詳しく話してくれた。



屋須は病床にあり、故郷藤沢の景色、食べ物を思い浮かべていた。館山に咲き誇るさくらの花、幼い頃母が作ってくれた料理の数々…二度と見ることも出来ず、食べることも出来ないものであった。

やがて屋須の訃報を知らせるグアテマラの国鳥「ケツァール」

屋須は「ケツァール」となって故郷藤沢に戻ってくるのであった…

## キャストイング

屋須弘平	佐藤 豊光 (黄海)
マリア・ノリエガ	島山 裕子 (藤沢)
エスタバン (幼児期) & ペトロ	及川 寛江 (藤沢 中1)
エスタバン (成長期)	千葉 恭葉 (藤沢 中3)
マルガリータ	星 美智子 (徳田)
ホセ・ドミンゴ&モラレス	千葉 憲一 (徳田)
むら子&ルハン	千葉 徳利 (西口)
タマキ	栗田 隼 (東山町 高3)
屋須嘉平&オルテガ	千葉 松男 (黄海)
みよ	小山 裕子 (千原町)
ちとせ (幼児期)	佐藤 雅代 (徳田 小5)
ちとせ (成長期) & ミレーヌ	小山 美紀 (千原町)
喜一郎&吉の助	菅川 文彦 (西口 中1)
おやす	佐藤 和子 (黄海)
英吾 (幼児期) & ポーレス	佐川 美有希 (黄海 小4)
英吾 (成長期) & 照次	島山 隆一郎 (室根町 高2)
昇太 (少年期)	栗田 純平 (東山町 中2)
昇太 (成長期) & ホセファ	熊谷 健太 (黄海)
鉄男&ベレン	藤江 元 (川崎町)
みつ	熊谷 紗耶華 (藤沢 小4)
かなえ&ベアトリス	佐藤 麻衣 (藤沢 小4)
いく	栗田 明香里 (東山町 小4)
エバンス	菅川 奏子 (西口 高3)
エスピナル	堀本 壽信 (千原町)
イサベル&メスティソ	藤森 美穂 (大東町)

# 屋須弘平 物語 さくら

第7回藤沢市民劇場

